

「まちづくり」を考える情報誌

Let's まちづくり From now on



# まちづくり

Vol.  
130

2022. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



既成概念をぶっ飛ばせ。

## 新しい公共空間の使い方



馬場川パークでの一枚  
(前橋市アーバンシンポジウムチラシより)



官民連携まちづくりシンポジウム



## もっと進め!!

### 官民連携まちづくり

- ぐんま官民連携まちづくりシンポジウムを開催しました!
- 第3回前橋市アーバンデザインシンポジウム  
「“まち”を使うってこんなにもおもしろい」を開催しました!

【連載】 観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.28

### PRIME観光都市・東京(東京都観光産業振興実行プラン)の新プランに学ば ーコロナ禍からの観光の復活と観光まちづくりの新たな道筋

【トピックス】 ぐんま“まちづくり”ビジョン

### 富岡市アクションプログラムによるまちづくり

- マーチィ'sROOM
- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
  - マーチィ VOICE まちづくりプレイヤー紹介
  - マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるまちづくりに関係するイベントの紹介・お知らせ

- マーチィの独り言





# ぐんま官民連携まちづくり シンポジウムを開催しました！

群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム(群馬県都市計画課)

## 1. はじめに

群馬県で推進している「官民連携まちづくり」について、より多くの方に関心を持ってもらうために、令和4年2月24日に県庁32階NETSUGENからオンライン配信にて、「ぐんま官民連携まちづくりシンポジウム」を開催しました。

## 2. 第1部：基調講演

基調講演は、「既成概念をぶっ飛ばせ！公民連携の構想力と行動力」と題して、(株)オープンエー代表取締役・東北芸術工科大学教授の馬場正尊さんに公園を活用したご自身の取り組みなどをご紹介いただきながら、官民連携やエリアリノベーションがどのように行われてきたかお話しいただきました。その講演の概要について、ご紹介します。

### ○はじめに

初めは、古い建物のリノベーションに携わる「民間×民間」の事業を行う中で、公共性の高い空間に様々な人が集まり、コミュニケーションの頻度が上がることでムーブメント化する経験をしました。

そこから徐々に、意識がパブリック空間に向くようになり、利用者も運営者もハッピーになれるような公共空間に対する妄想企画書「RePUBLIC 公共空間のリノベーション」という本を出版しました。この本をきっかけにコミュニケーションが始まり、公共空間へのコミットがスタートしました。



基調講演(馬場正尊氏)

### ○公共R不動産から始まる新たな活用

公共R不動産は、日本中にある面白い公共空間を民間企業へマッチングするサイトであり、行政と民間の間にある認識やスケジュール感、公共空間活用で大切にしていることを翻訳し、双方を繋ぐ役割も担っています。そこで、トライしたのは、「南池袋公園」の事例です。民間のマネジメント組織を立ち上げ、公園を知ってもらう社会実験を繰り返し行いました。地元に住む女性が結婚式を挙げてくれたエピソードもあります。こうしたトライ&エラーを繰り返し、許認可関係者と理解を深めていきました。制度やルールは、固いものではなく、お互いの信頼関係によって上手に使うべき柔軟なものです。東京23区で唯一消滅可能性都市に選ばれてしまった豊島区(池袋)は、今や「子育てしたい街」として人気があります。おそらく、南池袋公園のハッピーな風景がエリアの価値を上げたのでしょう。

地方では、佐賀県にある人口8,500人の地元・江北町での事例があります。2019年に完成した「みんなの公園」は、市民ワークショップを開き「こんな公園ができれば、あなたは何をしますか？してくれませんか？」とプレイヤー目線の質問をし、公園にコミットしてくれる市民に集まってもらいました。ハードの設計と同時に運営者のプロポーザルをすることで、ソフトの設計も進めるという仕組みです。運営者の希望を聞きながら設計したことで、完成と同時に色んなことが起こる公園となり、公園の活用が盛り上がっています。

このほかにも、沼津市の公民で連携協定を結んだ泊まれる公園「INN THE PARK」や山形県にある旅館を学生たちの手でシェアハウスにリノベーションした事例などがあります。

### ○おわりに

小さな民間の拠点づくり、次に、公民連携のエリアリノベーション、そこから公共空間を拠点としたエリアリノベーションに公民連携事業を掛け合わせて展開していきます。小さな点を面に広げて、最終的に政策へ繋げていくことが、こうした事業の醍醐味だと想います。

今日の講演が、公民共に「これから行動したい！」と思う方へのヒントになれば嬉しいです。

オンラインでありながらも参加者みなさまから多くの質問もあり、タイトル通りの「既成概念をぶっ飛ばす！」そんな熱を感じる講演となりました。





### 3. 第2部：妄想トークセッション

第2部では、パネリストに馬場さん、(株)A&V企画の林智浩さん、本庄デパートメントの早川純さん、群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチームの宮下智さん、コーディネーターに公共R不動産の飯石藍さんをお迎えし、公共空間の新たな活用に向けた妄想トークを展開していただきました。

今回は、みどり市のまちなか交流館及びながめ余興場、甘楽町の小幡公園およびその周辺エリア、群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクを対象施設としました。

#### ■ながめ余興場・まちなか交流館周辺エリア(みどり市)

ながめ余興場は、昭和12年に建築された劇場建築の建物で、現在、落語や歌舞伎、地元のカラオケ大会に使われています。まちなか交流館は、江戸中期に近江商人によって奥村酒造が創業された場所で、酒造が廃業になってから、市が買い取った施設になります。どちらもハードが先行し、ソフト面がついてきていないことが、課題となっている施設です。

妄想トークでは、台湾の文化創造産業が紹介され、まちなか交流館は、市の庁舎として活用や近くの高校の部室として使う。また、ながめ余興場では、ながめ余市やテストマーケットの開催などが、挙げられました。さらに、醸造文化を活かして、まちの人が集まって“発酵”するようなイベントも面白そうという意見ができました。



ながめ余興場

#### ■小幡公園および周辺エリア(甘楽町)

小幡公園は、平成26年度に整備され、遊具はなく、駐車場とトイレのある公園です。周辺には、雄川堰や楽山園などの観光地も多く、街歩きの拠点になっています。しかし、イベント以外の時は、閑散としており、公共空間に活用が課題となっています。

妄想トークでは、小幡公園から約200mのところにある雄川堰周辺の町道と野菜の産地を活かして、「ストリートキッチン」として活用し、野菜や作り手、食べ方を知る場づくりや空き家をシェアキッチンとして活用するなどのアイデアが挙がりました。また、小幡公園周辺は、ウォーキングをしている人が多いので、健康に特化したコンテンツもあると良いのではという意見もできました。



雄川堰

#### ■県総合スポーツセンター伊香保リンク(渋川市)

伊香保リンクは、スケートやアイスホッケー、フィギュアスケートができる県の施設です。冬は、スケートの大会など利用予定も多く、夏の閑散期にどう使うか、どのように場所の価値を上げていくかが、課題となっています。

妄想トークでは、伊香保温泉と提携した「リゾート施設」として利用し、子どもを遊ばせつつ、ママとパパは、温泉でのんびりできるような企画やスケボーパーク、ロープウェイインシアターなどが挙がりました。また、屋内リンクに氷を張って、「真夏の氷点下レストラン」を開き、温泉との温度差を楽しむようなアイデアもできました。



伊香保リンク

全ての施設で、ワクワクするような妄想が広がり、時間があっという間に過ぎてしまいました。最後に、馬場さんから、県や市の行政担当者は、「自分たちが走る」ことよりも「このネタに乗ってくれる民間ってどこにいるだろう?」という視点で考え、人材を繋げながら行政が楽しく人を巻き込んで行ってほしい。とアドバイスいただきました。

今回のシンポジウムは、アーカイブ配信を行っておりますので、右のQRコードから、ぜひご視聴ください。



パネリスト・コーディネーターの皆さま





# 第3回前橋市アーバンデザインシンポジウム 「まち」を使うってこんなにもおもしろいを開催しました!

前橋市 都市計画部 市街地整備課

## ■はじめに

令和4年2月22日(火)に、第3回前橋市アーバンデザインシンポジウム「まち」を使うってこんなにもおもしろいを開催しました。

## ■基調講演

まず、お1人目にご講演いただいたのは、東京藝術大学准教授であり、アーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長の藤村龍至様です。

タイトルは「みちからまちをデザインする」。愛知県岡崎市でのQURUWAプロジェクトや、さいたま市大宮区で実施されたおおみやストリートテラス(道路占用を活用した公共空間における社会実験)など、自身が手がけた公民連携型都市再生についてご講演いただきました。「前橋市中心市街地はまちの消費の場が少ない。消費の場を増やし、「歩ける」まちにする。公共空間の再整備を終えてどんな民間空間の再整備をしていくか?」など全国的な事例から前橋市について、お話いただきました。

お2人目にご講演いただいたのは、株式会社HAGISTUDIO代表取締役であり、建築家の宮崎晃吉様です。タイトルは「人の数だけあるまちの多様な姿」。自身が手がける東京・谷中を中心としたエリアリノベーションの取り組みでは、「まち=ホテル」と考え、宿泊施設や飲食店をエリアに点在させて、まちの回遊性の向上を図ったり、「まちまち眼鏡店」というまちの「ひと」にフォーカスしたローカルメディアの新たな取り組み、また、都市の中の森としての広場計画が進むしのめ信用金庫前橋営業部のリノベーションについてもお話いただきました。

## ■まちのおしゃべり

「まちを使いまくるまちづくりプレイヤーたちによる、おもしろい「まち」のおしゃべり」

基調講演をいただいたお2人の講師に加えて、前橋まちなかのまちづくりプレイヤーとして、臼井敬太郎様(前橋工科大学建築学科講師)、日下田伸様(一般社団法人前橋デザインコミッション企画局長)、亦野高裕様(ぐんま家守合同会社代表社員)にご参加いただきました。公共空間の利活用における馬場川通りの社会実験の実施や、広瀬川沿いでキッチンカーイベントをきっかけに始まったリノベーションの取り組み、また、大学の授業でのまちなかの歴史的建築物などの調査や、まちなかから撮る空のプロジェクトなど、多くの取り組みをご紹介いただきました。登壇者の様々な取り組みをもとに生まれたまちに対する思いや、課題など、お話いただきました。

## ■最後に

「まち」を使うってこんなにもおもしろい

たくさんの方々が前橋のまちを歩き、感じ、知ること。そこからわかるまちの魅力。人の魅力。

まちなかで過ごす時間が皆様にとってステキで豊かな時間となりますように。

様々な形で、まちをたくさん使ってみてください!



会場は国指定重要文化財の臨江閣



基調講演の講師のお2人  
(左:宮崎氏 右:藤村氏)



左から、亦野氏、日下田氏、宮崎氏、  
藤村氏、臼井氏



まちのおしゃべりの様子





## PRIME観光都市・東京(東京都観光産業振興実行プラン)の新プランに学ぶ —コロナ禍からの観光の復活と観光まちづくりの新たな道筋

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

新型コロナウイルスの影響で観光産業や観光地域は出口の見えない苦境の中にあります。2022年2月に東京都は東京都観光産業振興実行プランの新プランを公表しました。今回は審議会の会長として取りまとめに関わられた大下会長にインタビューした内容をレポートします。

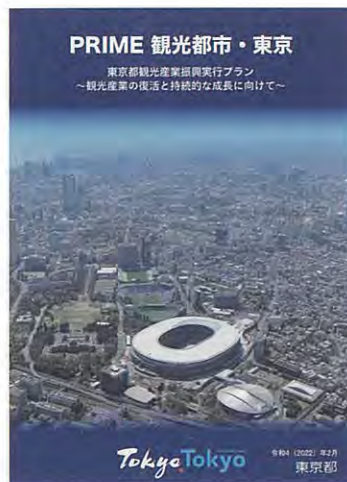
### ■ PRIME観光都市・東京(東京都観光産業振興実行プラン)とは…

「観光産業振興プラン2013-17」の策定が東京都観光のスタートであり、東京都観光のマスタープランとなりました。その後、東京2020大会の誘致が決定したことから、2017年度から「PRIME観光都市・東京～東京都観光産業振興実行プラン」を年次実行計画として策定しています。オリンピック開催に向けて着実に東京の観光力を高めることを目指して取り組んできたとのことです。

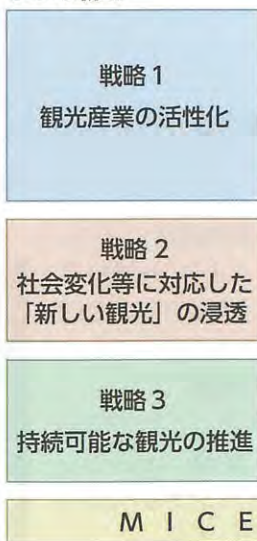
### ■ 新プランの特徴は…

新型コロナウイルス感染拡大防止の中で、東京2020大会以降の観光の道筋をどのように組み立てるのが注目されていました。新プランは、2022年度と2023年度の2年間において、「観光産業の復活と「サステナブル・リカバリー」の実現」を基本理念としています。全国の多くの地域においては観光旅行者が激減している中で、2020年の訪日日本人旅行者は前年比約38%減程度に収まっていることから、まず、国内観光の復活・需要回復から段階的に取り組むこととし、3つの戦略と7つの施策から構成しています(図参照)。

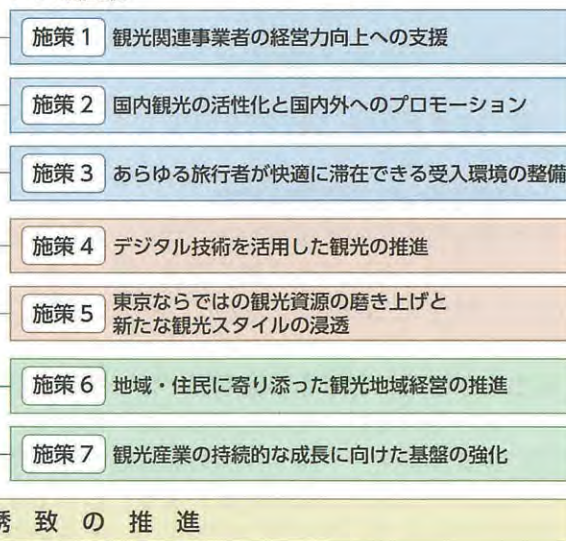
新プランでは、これまでの実行計画を継承しつつ、①持続可能な観光の推進のために観光地域経営を推進すること、②多様な主体の連携による地域の新たな観光資源を開発すること、③新しい日常に対応した観光スタイルを浸透すること、④地域の危機管理の対応力を強めること、⑤デジタル化への対応・デジタル技術の活用、⑥日本の玄関口として地方との連携強化による地方の観光の活性化に寄与することが、それまでの実行プランよりクローズアップされていることが特徴となっています。



#### 3つの戦略



#### 7つの施策



PRIME観光都市・東京の新プランの3つの戦略と7つの施策

### ■ 我々がデジタル時代の観光スタイルを変えられる?

新しい日常では、新しい価値観の創出が求められてきます。これまで観光とは無縁の地域もデジタル技術の活用や、これまで観光まちづくりに関わっていなかった私たち若者が参画することで、観光による活性化を実現できるチャンスが近づいてきています。観光まちづくりの最前線の取材に出かけることも規制されてきた2年間、私たちはオンラインで会議をしたり、受講したりする中で、デジタル技術が自然と身近なツールとなり、様々な活用の可能性のあることを体感しました。

新しい日常、新しい観光スタイルは、デジタル世代である私たち若者の観光行動から変わっていくのではないでしょう(飯村将大&まっちい。近藤)

【参考資料】東京都「PRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン～観光産業の復活と持続的な成長に向けて～」  
[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/plan/tourism/total\\_2022-23.pdf](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/plan/tourism/total_2022-23.pdf)





# ぐんま“まちづくり”ビジョン 富岡市アクションプログラムによるまちづくり

富岡市 都市計画課

## ■ぐんま“まちづくり”ビジョン富岡市アクションプログラムの改定

富岡市では第1期ぐんま“まちづくり”ビジョン富岡市アクションプログラム(以下、AP)の実施期間が終了したことから令和3年度は改定に向け、検証と見直しを行い、第2期APとして令和4年4月に公表しました。

## ■改定の経過

まずは、第1期APの具体的な取組の実施状況について、各担当に照会を実施しました。その結果、重点プロジェクトでは実施率が高い一方で、重点プロジェクト以外の取組については、必ずしも実施率が高くないことやAP自体が担当に認知されていない等の課題がありました。

したがって、改定においては、実現性を高めることを念頭に、APの意義や5ヶ年での行動計画といった意図を周知し、各担当が具体的な取組を選定する形としました。

更に、APの上位計画である総合計画が中期計画へと移行し、「立地適正化計画」と「地域公共交通網形成計画」も含めた都市計画のマスタープランである「都市と交通のマスタープラン」が策定され、望ましいまちづくりの将来像『世界遺産にふさわしいまち とみおか』の実現に向け、第2期APでは、「いつまでも活力に満ち溢れている富岡のまちなか」「まちのまとまりが保たれている富岡の郊外」をまちづくりの基本目標とし、上位計画との整合も図った具体的な取組として選定しました。市内全域の11事業、まちなかの14事業、郊外の7事業の全32事業を具体的な取組としています。

## ■具体的な新規の取組事例

具体的な取組の中でも今後のまちづくりにおいて重視していく新規事業を紹介します。

### ・上州富岡駅北地区再整備事業

都市構造再編集中支援事業を活用し、生活道路・公園整備等により、安全で利便性の高い都市基盤の整備を図り“まちのまとまり”を維持するための居住人口の増加と地域の活性化、駅周辺の回遊性の向上を図ります。

### ・まちなか道路における歩道空間 オープンテラスの実施

まちなかのにぎわいを創出するため、官民連携事業としてまちなかの道路歩道部にテーブルやイスを設置し、地元業者に歩道へ出店をしてもらうオープンテラスを実施します。まちなかのイベントと同時期に実施できるように、タイミング等についても調整を図ります。

### ・富岡北部運動公園の再整備

設置から20年以上経過した公園施設の老朽化に対する安全性の確保や機能の維持強化、また遊具や休憩施設の充実による子育て支援の強化を図るため、計画的に公園改修を実施します。

## ■終わりに

第2期APを今後5年間のまちづくりの実行計画として、市のまちづくりの将来像の実現に向け、行政と民間団体が英知を結集し、実現していきたいと考えています。

世界遺産にふさわしい“まち”、市民が安心して暮らし続けられる“まち”、観光客が何度も訪れたいくなる“まち”の実現に向け取り組みます。



上州富岡駅北地区再整備計画



歩道空間の実施イメージ



北部運動公園再整備のイメージ





# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「まちづくり幻想—地方再生はなぜこれほど失敗するのか—」著:木下 斉



今号のおすすめ  
ライブラリーはこちら!



題名からドキッとさせませんか。

本書では、地方創生が推奨される中、各施策に予算が投入されているにもかかわらず、うまくいかない原因(=まちづくりにおける様々な幻想)が指摘されています。幻想は、誤った意思決定や集団圧力を引き起こし、地域を成功から遠ざけます。

例えば、行政側は、予算を確保すること、事業を発注(外注)することが仕事ではありません。外注主義は、判断能力が低下し、その地域に合っていない施策が推進され、結果的に地域を衰退させていきます。まずは、自分たちで考えるスキルを身につける「外注依存デトックス計画」が必要とされています。

また、地域との関わりについては、人口減少を理由に、「地域が衰退しているのだから、何をしても失敗する」という幻想を共有してしまい、成功者や地域で活動を始める人を潰してしまう可能性があるという点です。集団で持つ幻想を捨て、自らの動きで想いを口に出し、応援していくという姿勢が必要とされています。

このほかにもたくさんの幻想が指摘されており、その光景が思い浮かんでしまうことがあり、読んでいてドキッとする内容になっています。何かに挑戦する時に背中を押してくれる一冊だと思います。ぜひ、ご一読ください。

## マーチィ VOICE

### ●まちづくりプレイヤー紹介●

渋川市地域おこし協力隊員 長沼 未希



長沼 未希さん



私の誇る渋川の景色

まちづくりは人づくりから始まります。観光振興や情報発信をしてまちづくりをしようとして一人でも声をあげても出来ることは限られています。私は自分の住む地域を大切に思う地元の人たちがいて、そこにもっとこのまちで楽しく暮らそうと思っている人たちがいて、そういう人たちと協力してから初めてまちづくりが始まっていくのだと思っています。今後も渋川の人と一緒に誰もが主役になれるまちづくりを目指していきたいです。

渋川市地域おこし協力隊として、令和元年度から観光振興・情報発信の分野で活動をしています。活動を始めて半年でコロナ禍という状況に陥ってしまったことで、より地域に目を向け、「地元の人が地元を誇ってもらおう」ことを目標に人との繋がりを大切に活動してきました。最近ではこの繋がりが一気に芽吹き、地域の人と協力して地域活性化イベントを立ち上げました。地域の歴史を深掘りし発信することで地元への興味を促進させつつ、誰もが主役になり活躍できる、そんな環境づくりをスタートさせました。今後はこういった環境づくりを積極的に行い、渋川に関わる人を増やしていきたいと思っています。

## マーチィの掲示板

### 県・市町村人事交流を終えて

飯塚 至剛(渋川市→群馬県県土整備部都市計画課都市計画係)

渋川市から人事交流職員として都市計画係で一年間お世話になりました飯塚です。

当初は新しい環境と初めて経験する業務に不安だらけの日々でしたが、県職員の皆様のとても暖かく丁寧な指導のおかげでとても有意義に楽しく研修期間を過ごすことができました。

県都市計画課での業務を通して、各市町村の課題や取組、個性などを知ることができ、大変勉強になりました。県内の現場に行ける機会もあり、今までにない経験を得ることもできました。また、派遣元についても、外から見てみると新たに気づくことも多々あり、県ならではの広域的な観点での業務への取組などは、今後、自身の仕事へ活かしていけるようにしたいと思います。

はじめは一年間という期間を長いと思いましたが、毎日充実した日々だったため、気がつけばあっという間でした。今回関わることのできた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後よろしくお願いいたします。

大隅 寛修(みどり市→群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室企画推進係)

令和2年度より2年間、みどり市から人事交流職員として派遣されました。

当初は、経験したことのない仕事や環境での業務だったので、不安なこともありましたが、県都市計画課の皆様の暖かいご指導のおかげで無事派遣期間を終えることができ、非常に勉強になる2年間でした。唯一の心残りは、時間外の交流会を実施できなかったことです...

派遣元と比較すると、県内外の事例や情報が入ってきやすく、政策の立案・検討等を行いやすい環境である一方で、県内の広範囲を見るために、より深い知識や広域的な観点が求められることから、実際に業務を通じてその難しさを感じました。

令和4年4月からは派遣元へと戻り、引き続きまちづくりに携わりながら、この2年間でできた人とのつながりや学んだことを活かせるよう精一杯頑張りたいと思いますが、最初のうちは、2年もの間、県で環境で過ごしていたので、今度は派遣元の環境に慣れるためのリハビリ生活になるかな...と思います。これまで関わってきた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。





# まちづくり イベント情報



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。  
予めご了承ください。

## SNSフォトコンテスト 「いろどりみどりフォト コンテスト2022春夏」

市内で撮影した写真をインスタグラムに投稿して応募する、フォトコンテストを開催中

■3月23日(水)～  
8月31日(水)  
【お問い合わせ先】  
みどり市観光課  
Tel. 0277-  
76-1270



いろどりみどりフォトコンテスト2022 春夏

○入賞賞品  
みどり市特産品等詰め合わせ  
10,000円相当  
○応募方法  
@irodorimidori\_photocon  
をフォローし、  
「#いろどりみどり市」  
をつけて期間内に新規投稿



## 非接触型スタンプラリー 「みどり市花めぐりスタンプラリー」

みどり市内の花の名所を巡るスタンプラリーを開催中。スタンプを集めると抽選でプレゼントが当たります。

■①4月1日(金)～5月31日(火) ②6月1日(水)～7月31日(日)  
■①岩宿の里、小平の里、小夜戸・大畑花桃街道、ながめ公園、鹿田山フットパス  
②松源寺、自音寺、小平の里、草木ドライブイン、鹿田山フットパス

【お問い合わせ先】  
みどり市観光課  
Tel. 0277-76-1270



## 紙ヒコーキ教室

割りばしと輪ゴムを使って飛ばす紙ヒコーキを作ります ※雨天中止

■5月14日(土)  
13:00～15:00  
(受付12:50～)

■ぐんまこどもの国  
野外ステージ

【お問い合わせ先】  
金山総合公園管理事務所  
Tel. 0276-22-1448



## 八木節交流広場

桐生市の郷土民謡である「八木節」の上演を行っています。出演団体は、桐生八木節連絡協議会の加盟チームです。

■5月15日(日)6月4日(土)19日(日)7月2日(土)(予定)  
10:00～15:00

■本町四丁目あーとほーる 絆座

【お問い合わせ先】  
桐生市役所観光交流課  
Tel. 0277-46-1111



## 七夕に願いを書こう

短冊に願い事を書いて笹の葉に飾り付けをしましょう。みんなが書いた願い事は7/7まで正門に飾ります。

■6月25日(土)～7月6日(水)  
※月曜日(6/27,7/4)は除く

10:00～16:30  
■ぐんまこどもの国  
エントランス広場

【お問い合わせ先】  
金山総合公園管理事務所  
Tel. 0276-22-1448



地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

まちづくりラボ・サルベージ株式会社



「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品で当地メニュー開発
- ・観光市場調査



弊社公式ページ

東京都町田市 中町1-22-7  
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619



帝京大学 経済学部 観光経営学科  
Faculty of Economics Department of Tourism Management



幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス  
オープンキャンパス2022日程(予定)  
●完全事前予約制  
●詳細はホームページをご覧ください。

6月26日(日)・7月24日(日)  
8月6日(土)・8月7日(日)  
9月18日(日)

お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359  
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

## マーチの独り言



皆様に愛されてきた本誌「おっ!まっ!ちい〜」も、創刊から23年目の春を迎えました。令和4年度は、小嶋、尾池、高瀬、小谷野、飯塚、石塚、白井の7名で担当させていただきます。昨年度も、県内でのイベントの中止や延期が相次ぎましたが、オンライン配信や非接触型スタンプラリーなどの「新しい生活様式」に対応する取り組みでの開催が徐々に増えてきてほっとしています(^^) コロナ禍での開催は、たくさんの苦労があると思いますが、「おっ!まっ!ちい〜」では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。それでは、今年度もよろしくお願い申し上げます。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL <http://www.pref.gunma.jp/07/h5800127.html>